

鴨川河川敷へのゴミ投棄・放置状況への取組について

<これまでの経過>

平成28年以降、インバウンド（訪日外国人）の増加やコロナ禍の緊急事態宣言による飲食店の営業自粛などをきっかけとして、鴨川河川敷へごみの放置が急増。

通常の対策（年間335日のごみ収集）に加え、「ごみの不法投棄対策連絡会議」による「ごみのポイ捨て禁止キャンペーン」や「鴨川府民会議」で検討した「河川敷のごみ対策のための環境整備」、ボランティアによる「ごみ回収」など、ソフト、ハードの対策を実施してきたが、依然としてごみの放置量は減っていない状況。

また、ボランティアの活動時、ごみを放置する者から威嚇される事象が何度も発生。

このようなことから、ごみのポイ捨て禁止看板の再設置やごみの発生源対策としての合同パトロール、ごみを放置常習者への個別啓発など、実効性のある更なる取組を検討。

◆「ごみの不法投棄対策連絡会議」における取組

平成29年6月「ごみの不法投棄対策連絡会議」開催

7月 ごみのポイ捨て禁止キャンペーン

鴨川を美しくする会、京都府京都土木事務所、京都市環境政策局、中京警察署、下京警察署連名によるごみのポイ捨て禁止看板の設置

同月 瑞泉寺横に設置している自動販売機横のごみ箱を封鎖。



ごみのポイ捨て看板の設置（平成29年7月）



ごみ箱の封鎖（平成29年7月）

◆ 鴨川府民会議での意見交換

- 平成29年9月 鴨川「ごみの不法投棄対策連絡会議」による取組報告
- 令和3年12月 鴨川河川敷へのごみ投棄・放置状況について共有
- 令和4年 3月 鴨川河川敷のごみ対策のための環境整備として、府市で三条大橋下流右岸へ照明装置の設置報告
- 12月 鴨川三条小橋付近に鴨川を美しくする会が不法投棄防止監視カメラ設置及び府によるプランター設置（再設置）報告
- 令和5年 2月 不法投棄防止監視カメラ設置後のごみ放置の状況報告
- 6月 鴨川河川敷へのごみ投棄・放置状況の現状確認、今後の取組を協議

◆ ボランティアと連携した河川美化活動の取組

- 鴨川定例クリーンハイク（昭和44年から年4回実施 参加者約1000人）
- 鴨川納涼（昭和44年から実施 参加者約2万人）
- 鴨川茶店（昭和48年から実施 参加者約5000人）
- カモシネマ学生クリーンハイク（平成17年から実施 参加者50名）

◆ 直近の取組

- 令和4年3月 LED照明施設を三条スロープ上の道路柱に設置（府市）
夜間に河川敷で飲食する人が増え、コンビニ袋や空き缶などのポイ捨てが後を絶たず、景観上も美観を損なっていることから、ごみの不法投棄対策として、府市により照明施設を3基設置。
- 令和4年6月 三条スロープ下に花のプランターを設置（府）
一人ひとりの美化意識に訴えるため、花を入れたプランター6個を三条スロープ下に設置。先斗町まちづくり協議会及び京都鴨川納涼床協同組合などが維持管理。
- [8月 プランター6個が損壊、みそそぎ川に投げ捨てられる事象が発生。]
- 11月 三条小橋付近に不法投棄監視カメラを設置（鴨川を美しくする会）
8月に損壊を受けたプランターについて、固定式を再設置（府）
- 令和5年6月 三条小橋付近の花壇の石積を一段上げ、座りにくい形状へ整備（府）
- 8月 知事記者会見（合同パトロール・ごみ放置常習者への個別啓発を実施）
ごみポイ捨て禁止看板を設置
- 9月 三条スロープ付近から四条大橋（往復）を府、市、鴨川を美しくする会による合同パトロールを実施。中京警察署員が同行。



LED 照明装置の設置（令和4年3月）



花のプランターの設置（令和4年6月）



プランターがひっくり返され、みそそぎ川に投げ込まれる（令和4年8月）



河川敷監視カメラ設置（令和4年11月）



監視カメラの画像



スロープ下花壇の石積の高さを上げた整備を実施（令和5年6月）



ポイ捨て禁止看板（令和5年8月設置）



ポイ捨て禁止

**No littering
请勿乱扔垃圾**

쓰레기를 버리지 마세요



鴨川を美しくする会
京都府京都土木事務所
京都市まち美化推進課
京都府中京警察署

4か国語 啓発資料

鴨川の河川敷でゴミのポイ捨て急増 警察などがパトロール

09月01日 17時45分



京都市の鴨川で、ゴミのポイ捨てが急増していることを受け、ボランティア団体や警察などが河川敷をパトロールして、散策する人たちにゴミを持ち帰るよう呼びかけました。

コロナ禍で飲食店でのアルコールの提供が制限されて以降、京都市

の鴨川では、河川敷で飲酒する人などが増え、ポイ捨てされた空き缶など、ゴミの増加が深刻な課題になっています。

清掃をしているボランティア団体によりますと、ことし5月以降は特に増えていて、45リットル入りのゴミ袋、10袋分以上が捨てられていた日もあったということです。

そこで、ポイ捨てをなくそうと、9月1日夕方、京都市中京区の三条大橋付近で、警察と府、京都市から参加したおよそ15人の職員が河川敷をパトロールしました。

河川敷に座るグループ1組ずつに声をかけ、ゴミ袋やティッシュを手渡し、「ゴミを持ち帰ってください」などと呼びかけていました。

外国人には、英語など、3か国語で書かれたポイ捨て禁止を呼びかけるチラシを示し、ゴミを持ち帰るように促していました。

ボランティア団体「鴨川を美しくする会」の杉江貞昭 事務局長は、「昼間はきれいですが、深夜になるとゴミ捨て場のようになっているので、一人一人の心がけできれいな鴨川を次世代に残してほしいです」と話していました。

府・市・鴨川を美しくする会、（府警同行）合同パトロール
令和5年9月1日（金）夕刻





ポイ捨て禁止

No littering

请勿乱扔垃圾

쓰레기를 버리지 마세요

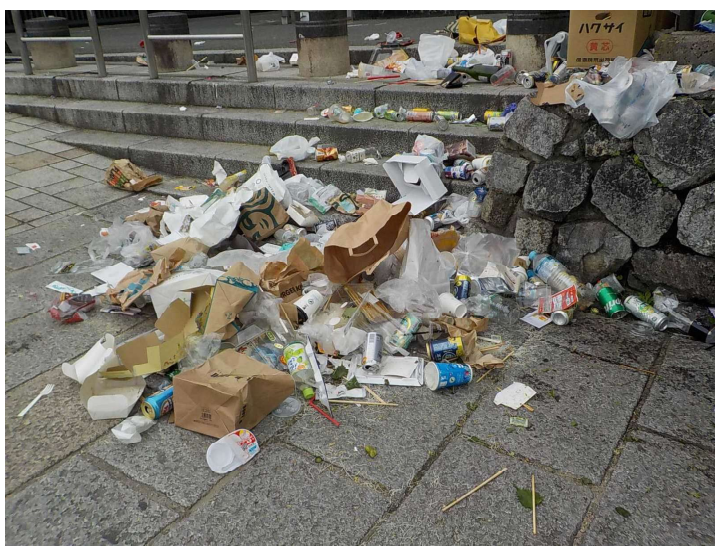
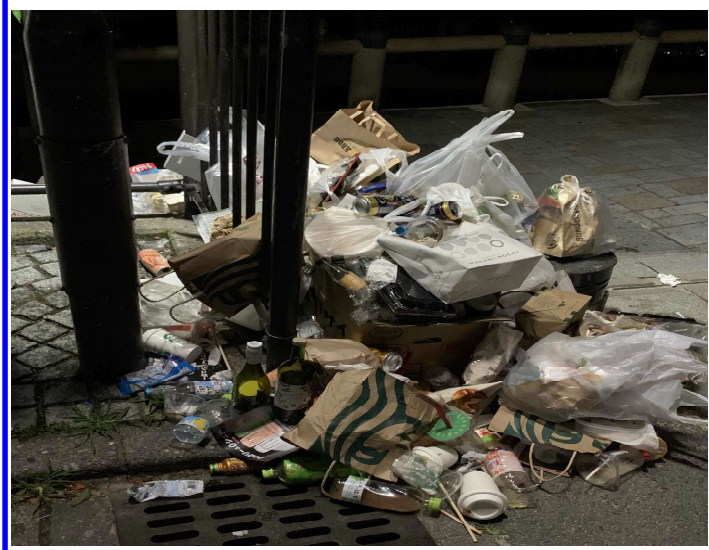


鴨川を美しくする会
京都府京都土木事務所
京都市まち美化推進課
京都府中京警察署

三條一四條大橋右岸河川敷等の深夜清掃ゴミ回収の記録
 6月26日(月)前 1 時46分深夜清掃開始・鴨川はゴミ捨て場？ 非常に残念です。鴨川を美しくする会



三條→四條間の通常ゴミ3袋
 ゲートのゴミ大量で回収不可



26日午前1時53分側道より会の撮影三條ゲート北詰め(過去最悪)・午前8時26分京都土木委託の清掃業者撮影後ゴミの回収を行う



令和5年8月23日（水）午後5時 自転車